

先週の回答



けい
ちよう
浮遊
は
桃
く

神保町の「無セキニン酒場」は、今日も会社帰りのサラリーマンで満員。
 「♪オーレーはこの世でいちばん、無セキニンといわれた男、ガーキーの頃から調子よくラクしてもうけるスタイル」
 「何だ！ そのチャラチャラした歌は！ ♪オーレーはこの世でいちばん、セキニン感のある男、子ども頃から不器用で、苦勞して損する男でなくてはいかん。地道にコツコツが最終的には評価される。タイミングにC調に無セキニンは感心できん」
 「すると、ゴマをすりましょう、すりましょゴマをくは？」
 「もつてのほか」
 「では、ああ〜イヤだよ部長はイヤだく、

ああ部長にはなりたくないね『いや、まったく気の毒ね』は？」
 「それは言える。部長がなんぼ（幾ら）の者だっというんだ。チクショー」
 「つて、何かあったんですか？ 部長」
 「奥さんが」
 「仕事が忙しくって家には寝に帰るだけになっただら」
 「いなくなっただ？」
 「♪わたしだけがあなたの妻、丈夫で長持ちいたします。てなこと言われてその気になって、女房にしたのが大まちがひ。炊事洗濯丸でダメ。食べることだけ三人前、ほかの男と手に手をとって、どこへ行ったか』はい、それま〜で〜よ』ふざけやがってこのヤロ〜なんだ」

「あせらない、あせらない」
 「何だと、人のことだと思つて」
 「グチを言うまい、こぼすまい、それが男の生きる道〜『ああ、何とかしなくちゃ〜』ですね」
 「・・・」
 「で、どうするんですか？ これから」
 「会社が引いたら、毎日山手線、一周して女房を捜す」
 「みつともないから、およしなさい。もつとでつかいことなげできぬ〜」
 「つて言われると、泣けてくる」



